



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.936 2014 年 6 月 30 日

ARIBからのお知らせ

第 92 回規格会議開催のお知らせ

第 92 回規格会議の開催について下記のとおりお知らせいたします。
規格会議委員の皆様のご出席をお願いいたします。

記

- 1 日時 平成 26 年 7 月 31 日 (木) 午後 2 時から 4 時まで
- 2 場所 東海大学校友会館 望星の間 (霞が関ビル 35 階)
東京都千代田区霞が関 3-2-5
- 3 議案
 - (1) 特定小電力無線局ラジオマイク用無線設備標準規格の改定について
 - (2) 特定ラジオマイクの陸上移動局の無線設備標準規格の改定について
 - (3) IMT-2000 DS-CDMA and TDD-CDMA System ARIB STANDARD / ARIB Technical Report の改定について
 - (4) IMT-2000 MC-CDMA System ARIB STANDARD / ARIB Technical Report の改定について
 - (5) OFDMA Broadband Mobile Wireless Access System (WiMAX™ applied in Japan) ARIB STANDARD の改定について
 - (6) OFDMA/TDMA TDD Broadband Wireless Access System (XGP) ARIB STANDARD の改定について
 - (7) 時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレス電話の無線局の無線設備標準規格の改定について
 - (8) LTE-Advanced System ARIB STANDARD の改定について
 - (9) 特定ラジオマイクの陸上移動局の無線設備 (テレビホワイトスペース帯、1.2GHz 帯) 標準規格の改定について
 - (10) デジタル放送における MMT によるメディアトランスポート方式標準規格の策定について
 - (11) デジタル放送におけるアクセス制御方式(第 2 世代)及び CAS プログラムのダウンロード方式標準規格の策定について
 - (12) デジタル放送におけるマルチメディア符号化方式 (第 2 世代) 標準規格の策定について

- (13) CS デジタル放送用受信装置標準規格（望ましい仕様）の改定について
- (14) デジタル放送に使用する番組配列情報標準規格の改定について
- (15) デジタル放送用受信装置標準規格（望ましい仕様）の改定について
- (16) デジタル放送におけるデータ放送符号化方式と伝送方式標準規格の改定について
- (17) デジタル放送におけるアクセス制御方式標準規格の改定について
- (18) デジタル放送における映像符号化、音声符号化及び多重化方式標準規格の改定について
- (19) 高度広帯域衛星デジタル放送の伝送方式標準規格の改定について
- (20) セグメント連結伝送方式による地上マルチメディア放送用受信装置標準規格（望ましい仕様）の改定について
- (21) 地上デジタルテレビジョン放送運用規定技術資料の改定について
- (22) BS/広帯域 CS デジタル放送運用規定技術資料の改定について
- (23) VHF・High 帯に適用するセグメント連結伝送方式による地上マルチメディア放送運用規定技術資料の改定について
- (24) 地上デジタル音声放送運用規定技術資料の廃止について
- (25) その他

第 122 回電波利用懇話会 7 月 8 日開催
「基幹系無線システムの高度化等に関する動向と今後の展望について」

ARIB ニュース No.934で既にお知らせしましたが、今回の電波利用懇話会では、総合通信基盤局 電波部 基幹通信課 中越課長補佐をお迎えして、平成26年5月21日に、情報通信審議会から基幹系システムの高度化等に係る技術的条件について一部答申を受けた内容をご紹介頂くとともに、これまでの経緯、国内外の状況、技術動向、運用面・制度面の見直し内容、主な技術的条件等の関連する話題等についてご講演をいただきます。

残席が少なくなってきましたので、参加ご希望の方は早めにお申込みお願いします。

記

- 1 日 時：平成 26 年 7 月 8 日（火） 午後 2 時から 3 時 30 分まで
- 2 場 所：一般社団法人電波産業会 会議室
東京都千代田区霞が関 1-4-1 日土地ビル 11 階
- 3 題 名：「基幹系無線システムの高度化等に関する動向と今後の展望について」
- 4 講 師：総合通信基盤局 電波部 基幹通信課 課長補佐 中越 一彰 様
- 5 対 象：ARIB 正会員及び賛助会員
- 6 参加者：60 名程度（定員になり次第締め切らせていただきます。）
- 7 申込先：当会ホームページ（<http://www.arib.or.jp/>）の「講演会等開催案内」まで
- 8 参加費：無料
- 9 問合せ先：企画国際部 電波利用懇話会事務局 佐藤 まで

TEL: 03-5510-8592 E-mail: arib-seminar2014@arib.or.jp

第 40 回放送文化基金賞 放送技術・特別賞を受賞

6月25日、第40回放送文化基金賞の贈呈式が千代田放送会館ホールで開催され、民間放送連盟、NHK 及び電波産業会の「ラウドネス導入プロジェクト」が、個人・グループ部門で、放送技術・特別賞を受賞しました。

この放送文化基金賞は、過去1年間（2013年4月～2014年3月）の放送の中から選ばれた優れたテレビ・ラジオ番組や個人・グループに、公益財団法人放送文化基金から毎年贈られるものです。今回は全国の民放、NHK、プロダクションなどから計276件の応募・推薦があり、番組部門には、番組15件と個人5件が、個人・グループ部門には、放送文化として3件、放送技術としては特別賞を含め4件が受賞しました。放送技術・特別賞の「ラウドネス導入プロジェクト」は、「日本のテレビ放送におけるラウドネス管理の導入」の活動が評価されて受賞に至り、電波産業会スタジオ設備開発部会・スタジオ音声作業班委員の松永英一氏が代表として受賞しました。

「ラウドネス導入プロジェクト」では、テレビ放送のチャンネル間や番組間の音量感のバラツキを解消するため、平均ラウドネス値による新たな音声レベル管理方法と基準を確立し、これをテレビ放送全体に導入しました。また、電波産業会の ARIB TR-B32「デジタルテレビ放送番組におけるラウドネス運用規定技術資料」の策定をはじめ、ITU-R 勧告改訂への意見反映、民放連技術基準の策定などの標準化活動と連携するとともに、新ルールを導入・定着のための周知活動を積極的に展開しました。その結果、民間放送連盟では2012年10月、NHKでは2013年4月にラウドネス管理に移行しました。視聴者からは音量感の統一に対して高い評価が寄せられています。



第40回放送文化基金賞贈呈式の様子と
挨拶する松永英一氏（スタジオ設備開発部会・スタジオ音声作業班委員）

第 217 回技術委員会（通信分野）を開催

第 217 回技術委員会（通信分野）を開催しましたので、その概要をお知らせいたします。

- 1 日時：平成 26 年 6 月 25 日（水） 午後 3 時 30 分から 4 時 45 分まで
- 2 場所：当会第 2 会議室
- 3 議事概要
 - (1) 無線 LAN システム開発部会活動概要報告について
 - (2) APT 研修生の ARIB 会員企業訪問について（追加募集）
 - (3) 「周波数資源開発シンポジウム 2014」開催のお知らせ
 - (4) ARIB 標準規格及び技術資料の Web サイトでの提供状況について
 - (5) その他

ARIB 標準規格及び技術資料の Web サイトでの提供状況

当会は、ARIB 標準規格及び技術資料を平成 20 年 4 月から ARIB の Web サイトにて提供しています。集計は閲覧（標準規格等一覧表へのアクセス）とダウンロード（標準規格等 PDF へのアクセス）について、IP アドレスにより国別に分類しています。この分類に基づき平成 25 年 4 月から平成 26 年 3 月までの 1 年間について集計を行いましたので、その結果について報告します。

【平成 25 年度の概要（平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月）】

1 閲覧総件数とダウンロード総件数

日本語 Web と英語 Web を合計した閲覧総件数は約 22 万 7 千件、ダウンロード総件数は約 8 万 6 千件でした。合計は約 31 万件で前年度比で約 81%です。（図 1 に月別推移を示します。）当年度に策定・更新された標準規格・技術資料の数は 60 で前年度の 75 から 80%に減っており、両者に相関がみられます。

なお平成 24 年度も、総件数の合計は前年度比約 94%、策定・更新数は 80 から 75 へ約 94%に減少し、同様の傾向を示しています。

2 規格会議後の標準規格・技術資料の更新

規格会議で決議された標準規格・技術資料が当年度内に 4 回更新されていますが、その時期に標準規格等一覧表への閲覧件数及びドキュメントのダウンロード件数が増加しピークを顕著に作っています（図 1）。

3 ドキュメント別ダウンロードの上位

ドキュメント別ダウンロード件数(表1)の上位3位は、TR-B14(12,749件)、STD-B24(5,777件)、TR-B15(4,763件)でした。いずれもデジタル放送関連で、昨年度と同じ順位でした。

4 海外からのダウンロードの上位

海外からのダウンロード件数(表2)の上位3位は、STD-B24 英語翻訳版(456件)、TR-B14 日本語版(385件)、STD-T66 日本語版(362件)でした。1位と2位は昨年と同じですが、当年度内に更新のなかった STD-T66 が7位から3位に上がりました。

国別では、全般的には中国、台湾、韓国、米国等が昨年度同様上位を占め、通信関連には欧州のドイツ、フランス、英国からもダウンロードがありました。

図1 標準規格等一覧表の閲覧件数とドキュメントのダウンロード件数の推移

(平成25年4月～平成26年3月)

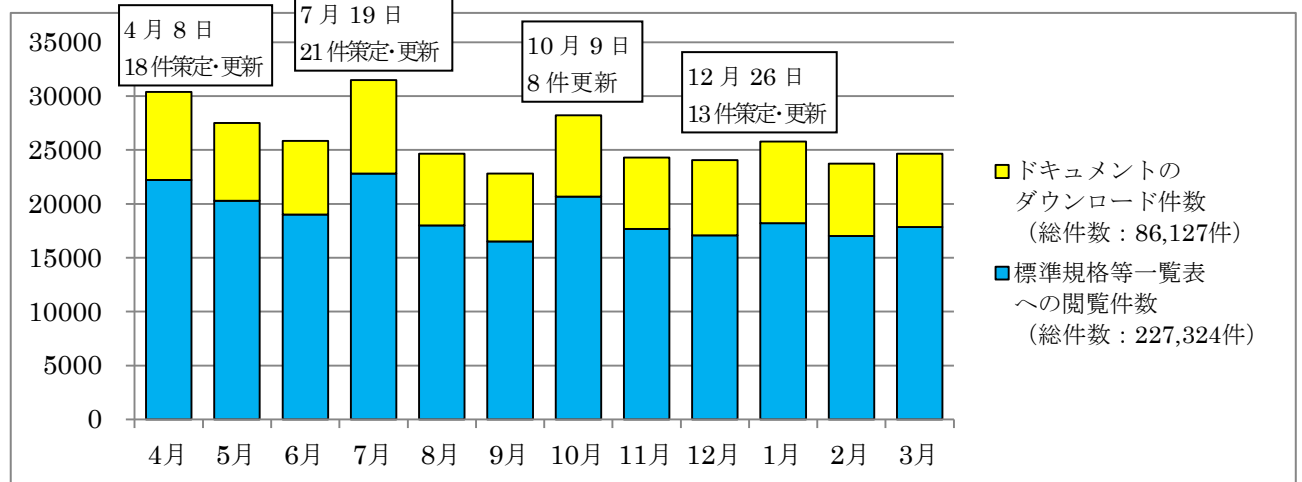


表 1 標準規格・技術資料ダウンロード件数 Top20

(平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月)

順位	標準規格・ 技術資料番号	文書名	更新 回数	ダウンロード件数		
				Total	海外	海外 比率
1	TR-B14	地上デジタルテレビジョン放送運用規定	4	12749	385	3.0%
2	STD-B24	デジタル放送におけるデータ放送符号化方式と伝送方式	2	5777	334	5.8%
3	TR-B15	BS/広帯域 CS デジタル放送運用規定	4	4763	163	3.4%
4	STD-T66	第二世代小電力データ通信システム/ワイヤレス LAN システム	0	2101	362	17.2%
5	STD-B21	デジタル放送用受信装置 (望ましい仕様)	1	1892	92	4.9%
6	STD-B31	地上デジタルテレビジョン放送の伝送方式	0	1582	77	4.9%
7	STD-B10	デジタル放送に使用する番組配列情報	1	1572	90	5.7%
8	TR-B33	セグメント連結伝送方式による地上マルチメディア放送運用規定	2	1501	76	5.1%
9	STD-T108	920MHz 帯テレメータ用、テレコントロール用及びデータ伝送用無線設備	0	1428	51	3.6%
10	STD-B32	デジタル放送における映像符号化、音声符号化及び多重化方式	0	1276	65	5.1%
11	STD-T61	狭帯域デジタル通信方式 (SCPC/FDMA)	0	1183	26	2.2%
12	STD-B25	デジタル放送におけるアクセス制御方式	1	1140	102	8.9%
13	STD-B56	超高精細度テレビジョン方式スタジオ規格	1	1025	109	10.6%
14	STD-T79	都道府県・市町村デジタル移動通信システム	0	994	22	2.2%
15	TR-B14 (英語翻訳版)	Operational Guidelines for Digital Terrestrial Television Broadcasting	0	965	272	28.2%
16	TR-B32	デジタルテレビ放送番組におけるラウドネス運用規定	2	893	125	14.0%
17	STD-T71	広帯域移動アクセスシステム(CSMA)	1	866	207	23.9%
18	STD-T67	特定小電力無線局 400MHz 帯及び 1,200MHz 帯テレメータ用、テレコントロール用及びデータ伝送用無線設備	0	847	73	8.6%
19	STD-B24 (英語翻訳版)	Data Coding and Transmission Specification for Digital Broadcasting	0	823	456	55.4%
20	STD-T63 (英語版)	IMT-2000 DS-CDMA and TDD-CDMA System	4	815	111	13.6%
Top20 件の合計				44192	3198	

表 2 標準規格・技術資料 海外からのダウンロード件数 Top10 (平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月)

順位	標準規格・技術資料番号	文書名	海外							日本	国内外 Total
			海外 Total	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	他		
1	STD-B24 (英)	Data Coding and Transmission Specification for Digital Broadcasting	456	中国	台湾	韓国	米国	アルゼンチン	172	367	823
				86	73	61	41	23			
2	TR-B14	地上デジタルテレビジョン放送運用規定	385	韓国	米国	中国	台湾	フィリピン	72	12364	12749
				151	64	63	19	16			
3	STD-T66	第二世代小電力データ通信システム/ワイヤレス LAN システム	362	台湾	中国	米国	韓国	ドイツ	78	1739	2101
				109	70	49	39	17			
4	STD-B24	デジタル放送におけるデータ放送符号化方式と伝送方式	334	中国	韓国	米国	台湾	インド	66	5443	5777
				100	60	55	44	9			
5	STD-T66 (英)	Second Generation Low Power Data Communication System/Wireless LAN System	324	台湾	米国	中国	韓国	カナダ	86	237	561
				80	64	47	34	13			
6	TR-B14 (英)	Operational Guidelines for Digital Terrestrial Television Broadcasting	272	韓国	中国	インド	米国	台湾	61	693	965
				85	47	36	23	20			
7	STD-T71	広帯域移動アクセスシステム(CSMA)	207	台湾	韓国	中国	米国	フランス	24	659	866
				98	25	24	21	15			
8	STD-T108 (英)	920MHz-Band Telemeter, Telecontrol and Data Transmission Radio Equipment	200	米国	ドイツ	中国	台湾	英国	77	258	458
				35	32	24	20	12			
9	TR-B15	BS/広帯域 CS デジタル放送運用規定	163	韓国	中国	台湾	米国	インド	37	4600	4763
				42	37	21	19	7			
10	STD-33	小電力データ通信システム/ワイヤレス LAN システム	136	台湾	米国	中国	韓国	フランス	30	386	522
				45	23	22	13	3			

(英) は英語翻訳版

今週の ARIB 内会合（6 月 30 日～7 月 4 日）

7 月 1 日（火）： デジタル放送システム開発部会 データ符号化方式作業班
スタジオ設備開発部会 機器間インタフェース検討作業班
7 月 4 日（金）： 周波数資源開発シンポジウム 2014（明治記念館）

今週の国際会合（6 月 30 日～7 月 4 日）

今週は開催を予定している会合はありません。

総務省からのお知らせ

端末機器の技術基準適合認定等に関する規則の一部を改正する省令案 に対する意見募集

【[平成 26 年 6 月 18 日の総務省報道資料から](#)】

総務省は、本年 6 月 11 日に公布された「電気通信事業法の一部を改正する法律（平成 26 年法律第 63 号）」の一部施行（法公布後 3 月以内施行）に伴う関係規定の整備等のため、端末機器の技術基準適合認定等に関する規則（平成 16 年総務省令第 15 号）の改正を行う必要があることから、今般、その改正案を作成しましたので、本年 6 月 19 日（木）から同年 7 月 18 日（金）までの間、意見を募集します。

1 背景・改正の概要

平成 26 年 6 月 11 日に公布された「電気通信事業法の一部を改正する法律」のうち、附則第 1 条第 2 号に掲げる規定（技術基準適合認定等の表示が付されている端末機器を組み込んだ製品を取り扱うことを業とする者は、製品に組み込まれた端末機器に付されている表示と同一の表示を当該製品に付することができる規定等）については、公布の日から 3 月を超えない範囲内において政令で定める日に施行することとされており、これに必要な関係規定の整備等を行うため、端末機器の技術基準適合認定等に関する規則の改正を行う必要があります。

今般、その改正案を作成しましたので、これに対して意見募集を実施します。

2 意見公募要領

(1) 意見募集対象

- ・ 端末機器の技術基準適合認定等に関する規則の一部を改正する省令案
([別添：新旧対照表](#) )

(2) 意見募集期限

- ・平成 26 年 7 月 18 日（金）17 時（郵送の場合は、同日必着。）

詳細については、[別紙](#)  意見公募要領を御覧ください。

3 今後の予定

当該省令案については、寄せられた意見を踏まえ、改正を行う予定です。

連絡先

意見の提出及び問い合わせ先

総合通信基盤局電気通信事業部

電気通信技術システム課

担当：柴田課長補佐、郷藤審査係長

住所：〒100-8926

東京都千代田区霞が関 2-1-2 中央合同庁舎 2 号館

電話：（直通）03-5253-5862

（代表）03-5253-5111 内線 5862

FAX：03-5253-5863

E-mail：shisutemuka_atmark_soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。送信の際には、「@」に変更してください。

**特性試験の試験方法を定める件の一部を改正する告示案に係る意見募集
一次世代高速無線 LAN システムの試験方法の追加等**

【平成 26 年 6 月 23 日の総務省報道資料から】

総務省は、平成 16 年総務省告示第 88 号（特性試験の試験方法を定める件）の一部を改正する告示案を作成しました。

つきましては、当該告示案について、平成 26 年 6 月 24 日（火）から同年 7 月 23 日（水）までの間、意見募集を行います。

1 改正の背景

無線設備規則（昭和 25 年電波監理委員会規則第 18 号）、特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則（昭和 56 年郵政省令第 37 号。以下「証明規則」といいます。）等が改正され、次世代高速無線 LAN システムが導入されたことに伴い、証明規則別表第 1 号 1(3)の規定に基づき、告示の一部を改正することとしました。

2 告示案の概要

告示を改正し、次の特性試験の試験方法を改めるとともに、規定の整備等を行います。

- ・小電力データ通信システム【別表第 45 証明規則第 2 条第 1 項第 19 号の 3、第 19 号の 3 の 2 及び第 19 号の 3 の 3 に掲げる無線設備の試験方法】[【新旧対照表】](#) 

3 意見公募要領

意見募集対象：特性試験の試験方法を定める件の一部を改正する告示案（別添：新旧対照表）
意見提出期限：平成 26 年 7 月 23 日（水）午後 5 時（必着）（郵送の場合、同日付けの消印有効）

詳細については、[別紙](#)  の意見公募要領を御覧ください。

なお、告示案については、総務省ホームページ（<http://www.soumu.go.jp>）の「報道資料」欄及び電子政府の総合窓口 [e-Gov]（<http://www.e-gov.go.jp>）の「パブリックコメント」欄に掲載するとともに、連絡先窓口において閲覧に供することとします。

4 今後の予定

寄せられた意見を踏まえ、速やかに告示の改正を行う予定です。

連絡先

総合通信基盤局 電波部 電波環境課

菅原課長補佐、芦澤技術管理係長

TEL：（代表）03-5253-5111 内線 5908

（直通）03-5253-5908

FAX：03-5253-5914

E-mail：giteki_shiken_atmark_ml.soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しておりますので、送信の際は「@」に変更してください。

編集後記

この ARIB ニュース発行日の 6 月 30 日は「トランジスタの日」です。

1948（昭和 23）年のこの日、アメリカ・AT&T ベル研究所のウォルター・ブラッテン、ジョン・バーディン、ウィリアム・ショックレイらのグループにより発明されたトランジスタが初めて公開されたとのことでした。

この「transistor」という言葉は「変化する抵抗を通じての信号変換器（transfer of a signal through a varister または transit resistor）」からの造語だそうです。

当会で標準化されている通信システムや放送システムにおいて、その機器に使用されている LSI には多数のトランジスタが組込まれているのですが、単体のトランジスタにお目にかかるチャンスは最近では次第に少なくなっているのではないかと思います。

技術は着実に進歩していますね。

（T.K.）



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-1 日土地ビル11F
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp